RI District. 2660　Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2019-20

会報　No.2445
2020 年 1 月 23 日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ

2019-20 President of Rotary International　Mark Daniel Maloney
国際ロータリー第 2660 地区 2019-20 年度ガバナー　四宮　孝郎

2019-20 年度　会長：林　たかみ　幹事：片山　秀樹　広報・会報委員長：浦　収

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル　Tel：072-724-2781　fax：072-724-1786
e-mail：mino-orc@abeam.ocn.ne.jp　HP：http://mino-orc.net/　**例会日**：毎週木曜日　18：30～

◆今週の例会プログラム◆ 2020 年 2 月 6 日（木）第 2446 回例会 卓話 水島　教絵　会員	◆次週 2 月 13 日（木）は休会日です◆ ◆次々週の例会プログラム◆ 2020 年 2 月 20（木）第 2447 例会 移動例会　『がんこ　池田石橋苑』
◆ロータリーソング◆ 奉仕の理想	◆出席報告 2020 年 1 月 23 日 2445 例会◆ 会員数：26 名　出席者：20 名　出席率　86.95% 前々前回　2020 年 1 月 9 日　83.33%（参考値）

◆会長挨拶◆　会長　林　たかみ

今週月曜日、1 月 20 日は一年で一番寒い日「大寒」でしたが、やっと東北や北海道では少しまとまった雪が降ったようです。ご承知のように今年は例年になく温かい冬となっており、寒い地方でも雪が降らずスキー場などは困っておられるところも多いようです。除雪車での仕事をされている方々は出番がないので、メンテナンスで除雪車のペンキ塗りをされているというニュースを見ました。またどこかで菜の花が既に満開となっているところもあるように聞きました。これが気候変動に関係してるのかどうかはわかりませんが、もしかしたら日本の冬もこのように年々温かくなっていくのかもしれません。

ところで、今月は職業奉仕月間です。先週西脇委員長さんが卓話でもお話しくださいましたが、RI 会長、マーク・　マローニー氏も「ロータリーの友」の冒頭のメッセージで職業奉仕についてふれておられますので、少し紹介します。

マローニー氏がロータリーに入会された理由は「ロータリーはキャリアに大きなプラスになる。ロータリーに入れば人脈を築くことができ、真摯なよい職業人であるということをお客さんに示すことができる。」と教わったからだそうです。ロータリーが示す最も高い倫理基準のもとに働くロータリアンが、その職業を通して社会に奉仕するという考え方があり、どんな職業であっても、誠実に、常に「4 つのテスト」に従って働けば、自然に誰もが社会や世界に大きく貢献できるということです。

また、マローニー氏はいつも、職業人としての生活や家庭人としての生活と、ロータリー活動のバランスをとることが大事であり、「ロータリー活動に必要以上の時間を割かねばならない、というプレッシャーをロータリアンが感じることがあってはならない。ロータリアンが職場で活躍することが結果的にロータリーの素晴らしさを伝えるものとなる。」とおっしゃっています。

改めて「四つのテスト」を見返してみますと、シンプルで当たり前のことが書いてあるように思いますが、なかなか奥が深いものと思います。この期間を、皆さんひとりひとりの職業奉仕について、思いをめぐらしていただく時としていただけたらと思います。

◆幹事報告◆　幹事　片山　秀樹

・2 月の例会予定
　6 日水島会員卓話
　１３日休会日
　２０日移動例会
　２７日フォーラム（戦略計画委員会）

◆1/16 理事役員会報告◆

審議事項

・箕面市国際交流協会について→欠席
・第 2660 地区ＩＭ　第 1 組ロータリーデーについて
　→全員参加で登録
・地区大会のメイクアップカードの扱いについて
　→メイクアップは自己申告
　　クラブ事業は幹事が出席者を把握
　　理事会は議事録により出席者を特定
・定款細則変更手続きについて
　→規定情報委員長を中心に原案を作成
　　細則変更ルールにのっとり 6 月末までに変更を完了
・戦略計画フォーラムにむけてアンケート依頼の件
　→承認
・R2.2.20 移動例会について→原案通り実施
・R2.4.16 創立記念例会について→意見交換
・会員休会について→承認
・ロータリー賞について
　→可能であれば申請
　　4 月の説明会に事務局員参加
・決議案の提出について

報告事項

・アドプト事業報告
・クリスマス例会報告
・新入会員候補者の報告

◆SAA 報告◆　　SAA　　庄司　修二

ニコニコ箱

前田建司会員：高橋様、ようこそ。
黄堂泰昌会員：コロナウィルスも心配ですが、
　　インフルエンザ予防にご留意下さい。
芝野弘三郎会員:川端会員､卓話よろしくお願いします。
山本貴雄会員、木村知也会員、片山秀樹会員、林たかみ会員

米山奨学会

川端崇且会員：高橋君ようこそ。本日卓話よろしく。
上島一彦会員：高橋太郎社長、ようこそ、ロータリーへ！
河野優作会員、黄堂泰昌会員、芝野弘三郎会員、前田建司会員、

ロータリー財団

前田建司会員、芝野弘三郎会員、河野優作会員、黄堂泰昌会員、上島一彦会員

ポリオ

木村知也会員

◆卓話　米山奨学委員長　　川端　崇且　会員◆

私は箕面ロータリークラブに 1988.3.3 入会し、田村会員（積水奈良）渡邊会員（善意通訳代表）と 3 名同時入会でした。今年度の米山奨学委員会委員長は 2 度目と思う。正式名は公益財団法人ロータリー米山記念奨学会と言う。1952 年日本のロータリークラブの創始者米山梅吉氏の生前の功績を讃えて、後世まで残るような有益な事業をおこないたいと東京ロータリークラブが設立をした。(米山梅吉氏は現在の三井住友信託銀行を設立した方）事業の使命は、将来日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。なぜ外国人留学生を支援するのか？海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学金事業ですが、その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいと言う戦後のロータリーアンたちの強い願いがありました。当クラブでも多くの留学生をお世話しております。今年度も世話クラブとして中国からの留学生　張暁紅さんのお世話をさせて頂いており、彼女が月 1 回の例会に参加してメンバーとの交流を計り日本国を理解し、今後中国と日本の懸け橋となり活躍してくれることを期待して良いのではと思います。それで例年のように米山奨学金への寄付金を皆様方にお願いをしております。

当クラブの今年度 12 月末日迄の寄付総額は 202,000 円で 1 人当たり 7,923 円です。残り 6 ヶ月宜しくお願い致します。

私は、前にも言ったように 80 歳までは健康であればロータリークラブには出席をしたいと思っています。

今は全国プロバスクラブの副会長として活動していますが、同じ副会長をしております旭川プロバスクラブの山内和夫さんは、旭川ロータリークラブの会員でもありますが、52 年間も例会無欠席を続けているそうです。私も入会してもうすぐ 32 年になりますが、メイクアップを入れると無欠席になると思います。私が箕面ロータリークラブに入会時は会員数が 67 名で、こんな卓話は 2 年に 1 回しか回ってこなかったのです。

ロータリークラブに入会して良かった事は、山下元会員がいつも言っていました、多くの友人が一瞬にして出来る事です。出来の悪い私はロータリークラブに入会してよかった事は、人は誰に合うかによって考え方や.生き方、価値観、物のとらえ方、生活習慣すら変わることを実感しました。これはロータリークラブだけでなく、社会生活の中でも一緒の経験をした事を今になってわかってきました。

ロータリークラブも近年は変わってきましたが、変わって良い事と良くない事が年齢の違いでロータリーについての想いが違ってきたのではないでしょうか。私が入会したころは、今では問題発言になる意見が飛び回りました。たとえば私が会員増強委員長の時には地区のアンケートに女性会員を認めますと、出したところ猛烈な批判を浴びました。それが 30 年過ぎた今では女性会長が活躍されています。ロータリークラブで 1 番大切な事は、クラブ奉仕(仲間を大切に)であると思います。箕面ロータリークラブも 50 年続いていますが、これからは若い人達で地域社会に認められる箕面ロータリークラブになってくれればと期待をしております。

☆認証報告☆

ポール・ハリス・フェロー
　　木村貞基会員、木村知也会員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
　　西宮富夫会員